

10月21日(金)発売予定

 サンパウロ 新刊案内



# サバンナの風に魅せられて

## —アフリカのエイズ患者と歩んだ30年—

徳永 瑞子 著

「私がアフリカの人たちから教えてもらったこと、それはどんな時も希望を持ち、笑顔を忘れないということでした。」  
看護師、そして助産師として長年アフリカで医療活動に携わり、現地の人びとと喜怒哀楽を共にしてきた著者が贈る珠玉のエッセイ集。死にゆくエイズ患者とその遺児たち、内戦で銃火の下を逃げまどった時の恐怖、そして片時も脳裏を離れない忘れ得ぬ人たちとの思い出…。この本は、今の私たちが忘れてしまった大切な「何か」を教えてくれる。



### 著者略歴

徳永 瑞子（とくなが みづこ）  
看護師・助産師  
1948年 福岡県生まれ。  
1971年 コンゴ民主共和国で医療活動に携わったのがアフリカへのきっかけとなる。  
1993年から2022年3月 中央アフリカ共和国でエイズ患者支援活動を行う。

### 著 書

『エチオピア日記』（海声社）、『プサマカシ』（読売新聞1990年第11回読売女性ヒューマン・ドキュメンタリー大賞受賞）（テレビドラマ化）、『ザンベ！』『シンギラミング』（サンパウロ）、『これは本当のアフリカのお話です』『アフリカで老いを生きる』（青海社）、『アフリカの詩』『国際看護学』共編著、詩集『アフリカの大地』、詩集『アフリカの風』（クオリティケア）。